

「人形劇のまち飯田」の季刊情報誌

Winter 2025

Vol.48

Dogushi

胴串 -どくし-

特集

せかいの劇場 VOI.9

『こいぬと機関車-CHOO.CHOO.WHISTLE.WOOF!-』

こいぬと一緒に駆けまわった19日間

Chiyoko

せかいの劇場 vol.9

『こいぬと機関車-CHOO.CHOO.WHISTLE.WOOF!-』

Naivní divadlo Liberec

こいぬと一緒に駆けまわった19日間



海外のすぐれた作品を招聘し、飯田で鑑賞する機会をつくる「せかいの劇場」。2020年に計画していたチェコのナイブ二人形劇場を、コロナ禍を経て5年ぶりに招聘しました。彼らとともに日本国内を移動した記録をまとめました。



2匹のこいぬが出会い、線路をつなぎ合わせる場面



機関車の電球が切れて、主人公のこいぬが助けを求めている場面

©Tereza Kotounová

せかいの劇場 vol.9 としてお届けしたナイブ二人形劇場(チェコ)による『こいぬと機関車』。大阪、飯田、東京、京都の4都市で計12公演のツアーが12月8日に終了しました。

振り返ると、ナイブのメンバー10人は11月21日(木)に大阪に到着する予定でしたが、乗継地ヘルシンキの荒天により飛行機がキャンセルされるトラブルが発生。翌日にはヘルシンキを出発できたものの、韓国から大阪への乗継便に間に合わず、

到着は2日遅れの23日(祝)の夕方となりました。この日に予定されていた公演はやむなくキャンセルに。5年ぶりのツアーは波乱のスタートとなりましたが、奇跡的に翌日に振替公演が決まり、ナイブのメンバーは疲れをものともせず仕込みを進め、1日遅れで初演の幕が開きました。予約購入者の振替率も予想よりも高く、当初の7割の方に観劇していただきました。

その後は飯田で4公演、東京2公演、京都4公演を実施。どの会場も満席の



終演後に観客が舞台の近くで人形などを見ている

盛況で、熱気に包まれた公演もあれば、静かに集中して楽しむ観客の様子が印象的な公演もありました。同じ作品でも多様な楽しみ方があることに改めて気づかされました。

飯田では、日本や地元の文化にも触れる機会がありました。お茶会では本格的なお点前を体験し、今田人形座からは人形浄瑠璃の操作を学ぶなど、文化交流を楽しみました。またナイブニのメンバーは空いた時間を利用して、J Rで天龍峡を訪

れたり、バスでブックオフに行ったり、風越山に登ったりと車がなくても自由に好きな場所へ行っていました。

約3週間をとともに過ごすなかで、言語の壁を超えて通じ合える瞬間が増えました。そして信頼関係も深まっていききました。例えば、最初は大変だったトラックへの舞台道具の積み込みや荷下ろしも、回数を重ねるうちにお互いの意図が自然と伝わるようになり、作業がスムーズに進みました。公演全体を通じて、最後にはチェコ



最終公演を終えた後のツアーメンバー

日本の合同チームのような一体感が生まれました。

今回のツアーを支えてくださったすべてみなさま、そして観客のみなさまに改めて感謝申し上げます。これからも作品を通して素敵な出会いが生まれることを願っています。

いいた人形劇センター事務局長 木田敬貴



飯田でのお茶会



今田人形座での人形浄瑠璃操作体験

人形たちとつくるコミュニティスポット

ほっこり

ほっこりでは飯田下伊那郡にあるさまざまな施設に人形劇をお届けするアウトリーチの活動も行っています。

今回は豊丘村の慈恵園さんにおじゃまして、飯田市在住の宮澤利江さんによるひとり芝居・人形座「あん」の舞台をお届けしました。子どもたちは会場に入ってくると「まだ、はじまらない?」「いつから?」とワクワクしながら開演を待っていました。観客のみなさんとクイズ形式で進める紙芝居では子どもたちが元気いっぱい手を挙げて参加してくれました。

2月3月

には、居場所ほっこりを会場に「ミニライブ」と「ほっこりシアター」を開催します。ミニライブは地元の演奏家が奏でる音楽演奏と



人形座「あん」による上演



ミニライブ

2月8日(土) 14:30~15:30

音楽と人形劇のひとつき

出演:かほくち、シニア大学人形劇団かざこし
料金:300円 定員:20人

※いずれも事前予約必要

申込方法:①お名前(年齢) ②電話番号を入力してメールにて E-mail hokkoripuppet@gmail.com



ほっこりシアター

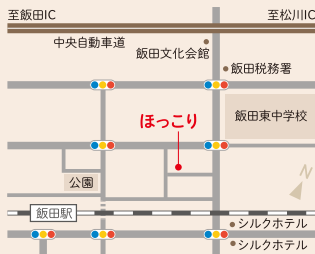
3月8日(土) 10:30~11:30

人形劇団ブーク「死神」

料金:200円

定員:20人

アマチュア劇団の人形劇公演で、出演するシニア大学・人形劇団かざこしは今回が初めての上演です。
また、2023年から始めたほっこりシアターは3月の上映会が最終回となります。この機会にぜひご鑑賞ください。



開所時間:第1・3木曜、第2・4土曜
14:00~17:00

料金:100円。時間内は自由に出入りできます

場所:飯田市高羽町2-5-1
駐車場はお問合せください

お問合せ:

NPO法人いいだ人形劇センター

☎050-3583-3594 担当:木田・後藤

hokkoripuppet@gmail.com

いいだ人形劇フェスタについて思うこと

ホーボース・パペットシアター 服部 哲

写真右が筆者



僕は人形劇をはじめて今年で47年になる。え!? 47年? そう僕の人形劇人生はほとんど飯田の人形劇フェスタの歴史とかぶるんだ。思えば人形劇カーニバルの始まりの頃、初めて劇団ちろりんとして参加した時僕らはまだ若かった。若気の至りの頃は今思えば恥ずかしいこともいっぱいあった。それでも年が近い友人も劇

団を越えて幾人かでき、その後ホーボースを立ち上げてからの励みになった。ホーボースを立ち上げてから37年、途中産休などの1、2回を省きずっと人形劇フェスティバルには参加し続けている。僕らのように都会ではないところに住んでいるとなかなか他劇団の芝居を観ることができないので飯田のフェスティバルは大変ありがたい。勉強になる。飯田には温泉もあるし、おいしいラーメン屋さんもある。それも参加する楽しみの一つだ。

人形劇カーニバル、人形劇フェスタ、名前は変わったけどずっと続いているのは素晴らしいことだ。僕はすっかりおじいちゃんになつてしまっただけ今後も体力の続く限り参加しようと思っている。どうかいいだ人形劇フェスタが末永く続きますように。

次号は静岡県「茶間屋」ショーゴの横山昭吾さんです



上演後に子どもたちと交流しているところ

すべての道は

飯田へ通ず

第37回

Library Cafe

飯田とつながる世界の人形劇図書資料から④

グラフィック 今田人形

伊那谷の人形座は江戸期以降28か所に存在し、そのうちの四座が21世紀の今も上演を行っている。このグラフィックは今田人形座が宝永元年(1704)から300年を迎える21世紀の前に楽しめる手軽な本をと作成され、写真を多用し今田人形の歴史から外題、操法などと、グラフィックの名に相応しく親しみやすい冊子。

人形浄瑠璃が17世紀初めに誕生し、近松門左衛門、竹本義太夫らによる新浄瑠璃は18世紀となる直前頃で、伊那谷の人形芝居の始まりはちょうどその頃なのだ。つまり1870年代以降の文楽座よりも、はるかに長い歴史を今田人形座や伊那谷の人形芝居が有している。なんと素晴らしいことだろうか。

(人形劇の図書館館長・湯見英明)



執筆・編集 伊藤善夫他

発行 今田人形座(1999年/41頁)

ダコタのIIDA日記

Journal de Dakota

人形劇の絆、 “せかいの劇場”



ダコタ・ミドウ 2022年5月に仏シャルルヴィル・メジェールから飯田へ。飯田文化会館で通訳や翻訳、海外とのやりとりを担当。飯田での生活の中で見たこと、感じたこと、人との出会いなどを綴ります。

こんにちは皆さん！

NPO法人いいだ人形劇センターが行った今回の“せかいの劇場”観に行きましたか？

昨年11月にチェコのリベツ市から来た人形劇団が飯田市で上演しました。ナイブ二人形劇場の通訳者として上演も観ることができて、本当に感動的でした。ビジュアル、音楽と照明で表現された雰囲気観客は引き込まれました。大人でも子どもでも楽しめる作品でした。子犬ちゃんが長い

旅の中で色々な出会いをして、みんなに手伝ってもらいながら進んでいくストーリーに感動しました。

飯田に滞在中は、お茶席に招かれて抹茶をいただいたり、市内の観光とあわせてナイブ二人形劇場の人たち



今田人形座の方から人形や衣装などの話を聞きました(写真左から2番目が筆者)



ナイブ二人形劇場のみなさんとお茶席の作法を教えてもらいながら抹茶をいただきました

ります。
あまり人形を使うことがない人たちが、手遣いの犬の人形でもものを見るというエピソードで、ぎこちなく決して上手

当に四苦八苦でした。
永野さんの手遣いの講座に見学者として参加してみて、気が付いたことがあります。

昨秋、ブーク人形劇場「人形劇の基本・操演講座」の講師を永野むつみさんと私で務めました。
まず「人形を操り演じる」を二人で語り合い、後日、体験・演習で「手遣い」をむつみさんが、「棒使い」を私が担当しました。

私の棒使いは、映像人形劇を想定したものでしたが、参加者が人形劇人よりも会社員・コマーシャルのアニメーター声優など様々な分野の人たちが多く、共通する概念がない中で、どの様に話せば理解できるのか、何とか伝えようと本当に四苦八苦でした。

劇人協会通信

映像と人形・ 人形劇 その16

日本人形劇人協会理事 事業委員

安藤 ばく

日本人形劇人協会

舞台や映像番組で活躍している実演家と人形劇に係わる仕事を職業とする専門人形劇人の組織。人形劇人相互の親睦交流、活動条件の改善と社会的芸術的地位の向上をはかることを目的に1967年に設立されました。



「パネル展 川本喜八郎の軌跡」

手がけた作品や美術館開館当時の姿などの写真約60点を展示。

12月21日(日)まで開催

※会場は時期によって変わり、企画展開催時は展示をしていない場合があります



人形美術家 川本喜八郎 生誕100年を記念した展示やイベントを開催

高い芸術性を備えた人形アニメーションを生み出し、NHK人形劇『三国志』などで多くのファンを魅了した人形美術家・川本喜八郎。2025年に生誕100年を迎えるのを記念して、飯田市川本喜八郎人形美術館は、年間を通じてさまざまな企画を開催します。

生誕100年を記念した常設展「人形劇三国志英雄列伝」をはじめ、美術館ギャラリーに人形を展示する姿や手がけた作品について写真で紹介するパネル展、ものづくり体験など、見て、触れて楽しめる内容が目白押しです。

しおりづくり体験

川本喜八郎が人形制作のために収集した生地を使用する小物づくり体験。気に入った色や文様の生地を選んで本や手帳用のしおりをつくります。

日時:2月9日(日)10:00~12:00 / 13:30~15:00

場所:2F映像ホール 料金:300円



連句アニメーション

『冬の日』上映会

国内外で活躍する35人のアニメーション作家によるコラボレーション作品。松尾芭蕉の連句『冬の日』をもとに一人が一句ずつアニメーションをつくっていく、ユニークでかつたない試みで誕生した超大作です。



©川本プロダクション
(2003年制作/105分)

日時:3月22日(土)10:30~12:15 場所:2F映像ホール 料金:無料

飯田市川本喜八郎人形美術館

開館時間:9:30~18:30(入館は18:00まで)

入館料:大人400円、小中高生200円

※いいだ人形劇フェスタ2024の参加証

ワッペン着用で小中高生は入館無料

休館日:水曜、年末年始

問合せ:☎0265-23-3594(飯田市本町1-2)



体験・演習で「手遣い」を指導する永野むつみさん
(写真右)

とは言えないまでも、人形がものを見るという行為を全身で表しているのはある種の感動さえ覚ええました。後で、なぜあの人形たちが見るという事をあそこまで表現できたのか考えると、そこには人形の単純化、演技の単純化が行われていたのでは、思えました。人形が持つ不思議さ、その表現力の豊かさを、改めて感じる事が出来ました。

見るという芝居に集中して演じると、自分の感じたままが人間の手という道具を通して素直に人形に現れてくるのは、人形劇の原点を見られたようで、参加者の中で私が一番得をした気分になりました。

日本列島 人形劇祭の旅



なにわ人形芝居フェスティバル

「なにわ人形芝居フェスティバル」の最も大きな特徴は、「地域の仏教寺院が主催している」という事です。事の始まりは1995年の阪神淡路大震災でした。甚大な被害が発生し、神戸の町はまさに空襲にあったような焼野原となりました。その後、3月には地下鉄サリン事件が発生し、日本中に暗い空気が蔓延しました。この状況に強い危機感と使命感を持ったのが、当時のこの地域の「お坊さん」達でした。

せっかく「お寺」という「場」がある。
この「場」を使って、何か明るい催しができるのか？
皆さんが笑顔になれるきっかけを作れないか？
悩んでいた時、ある和尚が仰ったそうです。「神戸の街を見て思い出した。終戦後すぐの頃、焼け出された子ども達に何かしてやれないかとリアカーを引いてにわか仕込みの人形劇を見せて回っていたことがある」と。「それだっ！」と皆、賛同したのです。松屋町筋沿い、1キロメートルにずらっとならんだ25のお寺全部が会場となりました。
そんな始まりから続き、おかげ様で次回2025年4月6日に第29回目を迎えます。
コロナ禍以前のスタイル「フリーパスで見放題」制にも去年から戻すことができました。桜の季節、4月の大阪で皆様のご来場をお待ち申し上げます。

なにわ人形芝居フェスティバル運営委員会事務局長
高口真吾



お寺の境内や建物の中で上演が行われます



観劇中に立ち寄りたい食べ物のテントやキッチンカーなど

DATA

主催：なにわ人形芝居フェスティバル運営委員会

第1回は1996年に開催。次回、第29回は2025年4月。

開催場所：大阪市天王寺区（一心寺～松屋町筋沿い界隈のお寺や神社、公園など）

問合せ：なにわ人形芝居フェスティバル実行委員会 ☎06-6774-2877

並木 さんぽ

今年のいいだ人形劇フェスタのテーマが「もっとわくわく」だそうです。いいだ人形劇センターも楽しいことが起きると期待して興奮し心を躍らせる、そんな事業を続けていけるよう心掛けてまいります。

次号は2025年4月発行予定です。(帆)

掲示板 いいだ人形劇センターからのお知らせ

みんなで観よう♪ 人形劇定期公演

飯田人形劇場を会場に地元の市民劇団が日ごろの成果を発表する定期公演。現在、2月から5月まで計画されています。観劇することによってスタンプがもらえ、3個集めると各種特典と交換できます。

- 今後の予定：2/23(日)、3/16(日)、4/13(日)、5/11(日)
- 場所：飯田人形劇場
- 料金：200円 ※3歳未満無料
- 問合せ：いいだ人形劇センター ☎050-3583-3594

